

『あるってくるぶニュース』は、芸術分野の様々な活動とまちづくり運動を自主的に企画、運営、支援する市民のグループで非営利組織の『あるってくるぶ』(Arte club) の活動状況のご報告と今後の予定、他の地域で活動しているグループの情報をお知らせするメディアです。

・・・こんな活動をしています、ご参加ください・・・

どなたでも参加できますが、会員には特典があります

① あるってくるぶギャラリー

—活動のご報告—

◇百鬼丸展「立体切り絵」・1999年9月2日～12日
9月、私達のゲストは「立体切り絵」の百鬼丸さんでした。作品は人工台地のように紙の支柱によって持ち上げられて、こちらに向って迫ってくる切り絵でした。それでなくても百鬼丸さんの切り絵は人間の動きの一瞬を捉えたアングルが多く、登場人物の気迫を感じさせる作品なのですが、さらに今回はそれが強調されていて、特に「富士山を持つ男」は唸り声まで聞こえてきそうな踏ん張りでした。初日のオープニングには、恩師の内田雄造さんがお見えになり、お祝いの言葉を頂きました。

柴野 利彦展「BOXES」・9月23日～10月3日
テーマは「エキソンとイントロン」、遺伝情報の中の「意味と無意味」、柴野さんの感性により選択され組換えられた記憶の遺伝子が小さく仕切られたBOXに提示されていて、子どもの頃、母に「いいかげんに捨てなさい！」と叱られた「宝物」の箱を思い出して、急にそのガラクタ達が整列し直しました。

◆ あるってくるぶ 総曲 高橋道弘

8、明かり 金子清美 '99. 4. 16. 金

4月13日、夕方、川越市大東字原新田、氷川神社の森が人家の灯火などを受けて、雪の森になりました。17日まで続いた

数日前に開いたコナラの若芽に加えて、クヌギの若葉が開いたから。18日に小雨が降り、若葉も緑がこくなつて、消えた。

この初見の自然現象を今日、明かりのアーチストにささげた。明かりと灯火の多様性を教えられた、おかげしに。

オープニングの日に開花した、斑入りツル日々草が、咲きつぎ、白花かすみ草が、今日一房開花し、アンスリウムの紅花も。

後日、ご主人である恋人に、あわせて頂きました。雪の森の明かりの話を楽しんで下さるお二人でした。

—これからスケジュール—

◆あるってくるぶ企画展

根岸 和弘展「平面」 1999年10月21日～31日
10月21日(木) 夕方6:00よりオープニングパーティで、アイリッシュ・ハープの演奏があります。

⇒ 作家プロフィール

'93 埼玉大学卒／第7回シェル美術賞展／'68 第3回J・A・F展／現代日本美術展('68'85'87'91)／'69 第1回箱根彫刻の森国際彫刻展／'86 第16回日本国際美術展／'86 第36回モダンアート協会展新人賞、奨励賞('87'88) 第22回文化庁現代美術選抜展／'88～'90 絵画今展／'89～'98 C・A・F展／'97 CONTEMPORARY ART FROM JAPAN展(アイスランド)／'98 He ARTプロジェクト森のゆうびん局 みやしろ芽・種・土

カツテ、ソレガ、ナンダッタノカが意味を現してきたと、感じた方はいませんか？雀の森で拾ったドングリと、ちびた蠅石、黄色いメッシュの入ったおはじきは、時間で繋がれた私の一部だったのですね、柴野さん！

和田 章 展「陶」 1999年11月18日～28日

たけんぞう展「立体」 1999年12月9日～19日

② 楽しくて、ちょっと悲しいクリスマスの展示です！

◆お知らせです

<アルテクラブ・トレッキング>

奥武蔵高原に紅葉したミズナラの自然林を見に行こう！

・11月6日(土) 10時 名郷バス停集合
名郷から妻坂峠にいたる沢沿いにミズナラがあるという話を聞きました。それを見ながら、武川岳に登り、尾根づたいに名郷へ下ります。トレッキングはどうも、という方には沢沿いの植物観察をお勧めします。当日は大東植物友の会の高橋さんが一緒にいます。電車、バスの時間、ハイキングルートは同封しました案内をご覧下さい。
雨天決行ですが、晴れますように！

(1)

あるつくるぶ ワークショップ

—活動のご報告—

■美術館見学 ハラミュージアム アーク —

・8月29日(日) 晴れ

・参加者 3名

ハラミュージアム アークは、伊香保のグリーン牧場の中に位置し、磯崎氏の設計による建物も、畜舎風、黒く塗られた杉下見板張り、平屋。

トップライトが設けられているが、展示の作品により、完全に自然光をシャットアウトしている展示室があった。夏季はワークショップや公開制作が開催されていて、今年のテーマは「天国で地獄」出品作家は市川平、牛島達治、大岩オスカール幸男、笠原出、小泉雅代、杉戸洋、奈良美智、森田多恵。

■旧東京市営古石場住宅・見学会

・9月10日(金) 暑い日でした

急に決まりまして、見学を希望されていた方にはごめんなさい。写真と資料(A4・30頁)を希望される方に、お送りしますので、連絡を下さい。この古石場住宅は都内に残っていた最も古い耐火集合住宅であったと思われます。鉄筋ブロック造3階4棟、RC造3階1棟、竣工は1~4号棟が大正12年3月、5号棟大正15年。同潤会アパートより先に建設されたアパートであり、鉄筋ブロックの厚さが30cmあるので、外観の汚れはあるが、当初の姿をよくとどめていた。その後に建てられた同潤会三ノ輪アパート(鉄筋コンクリート造)が、鉄筋が露出し老朽化が激しいのに比べると、その堅牢性はすごい。5号棟(RC造)この棟の窓台はとても低く(45cmぐらい)外部にプランター置き場が設けられ、排水も考えられている。室内には窓台の高さで奥行きの狭い(30cmぐらい)ベンチ状の腰が廻っており、住み手が楽しんで暮らしていたことが伝わってきました。

あるつくるぶ コンサート

—活動のご報告—

♪・柴野 利彦展「BOXES」

オープニングコンサート! 9月23日(木)

柴野さつきさんによるトイピアノの演奏がありました。ご主人の作品と絶妙の取り合わせで、楽しいミニコンサートでした。

♪・竹本文字久太夫・ギャラリートーク

9月20日(月) 6時より三番町ギャラリー
来年3月上福岡市で公演する演目の紹介と、文楽の歴史、人形の使い方、声色など、実演を交えて(いい声で、迫力がすごい)文楽の楽しみ方をいろいろお話を頂きました。

—これからのスケジュール—

□会場当番ボランティア・募集のお知らせ

「あるつくるぶ」はボランティアが自主的に参加して、様々な芸術活動やまちづくり運動を支援している会です。そのなかに会員の一人々がギャラリーのオーナーになる日があります。あなたもそんな支援者として、作家と時間を共有し、新しい自分を発見してみませんか?

	21日	22日	23日	24日
12時~				
16時~19時				
	28日	29日	30日	31日
12時~				
16時~19時				

会場当番は時間が拘束されます、参加された方には薄謝の他、ポイントを差し上げたいと思います。年末のプレゼントをお楽しみに!

参加を希望される方は草野までご連絡下さい。

□「パラソル・ショップ」のお知らせです!

越生の無農薬、有機栽培の野菜を販売します

10月30日(土) 12:00~14:00

三番町ギャラリー、テラスにて

・越生さくらの郷計画は県庁に推進室が設置されたそうですが、緑とせせらぎの会に植物調査の依頼もあったそうで、長期化、1歩前進というところでしようか。木造のビジターセンターぐらいにしてほしいものです。

□建築町並み見学会の予定

・自由学園(工事中なので今のうちに)
スケジュールが決まりましたらお知らせします。

□「かつしか まちネット」

10月9日「自転車のまち」ワークショップは楽しかった

・10月23日「市街地の活性化」

・11月6日「川とまち」

いずれも参加費無料、どなたでも参加できます。

問い合わせは草野まで

—これからのスケジュール—

♪・<アイリッシュ・ハープ>

10月21日(木) 根岸和弘さんのオープニングでアイリッシュハープのミニコンサートがあります。

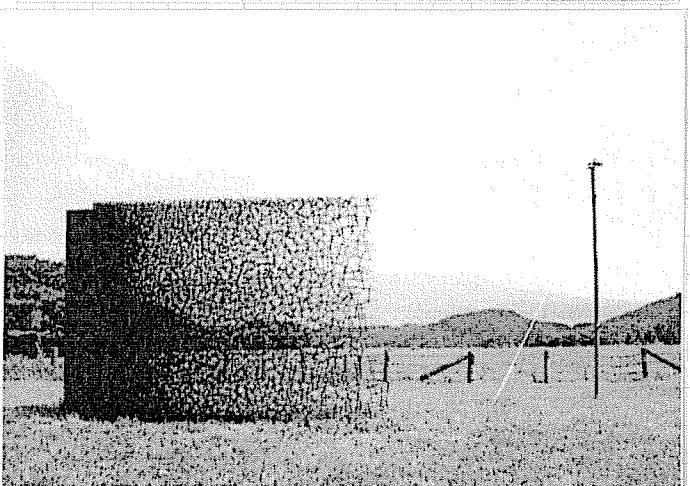
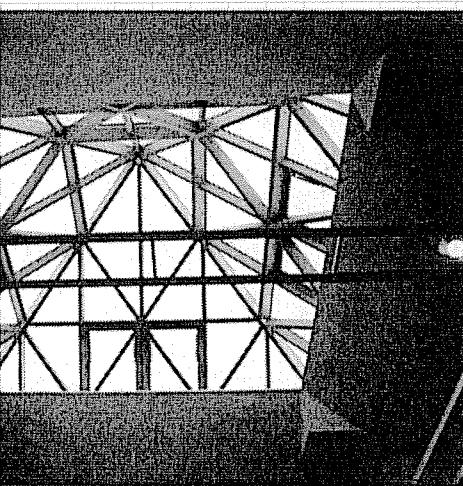
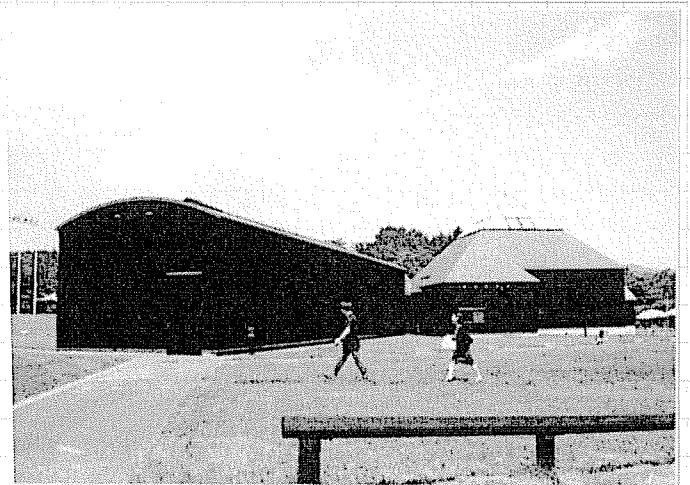
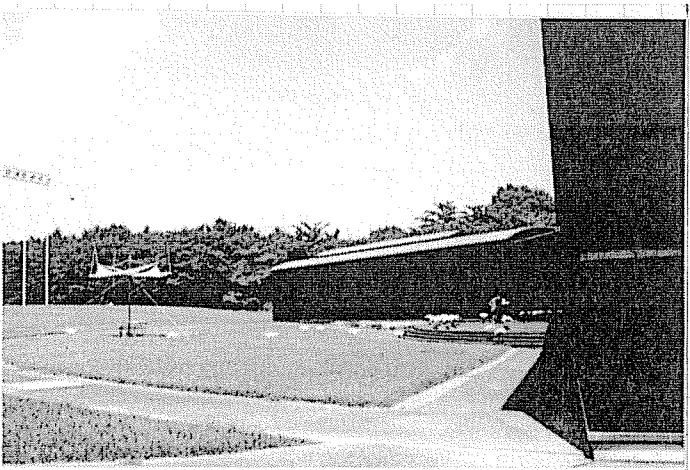
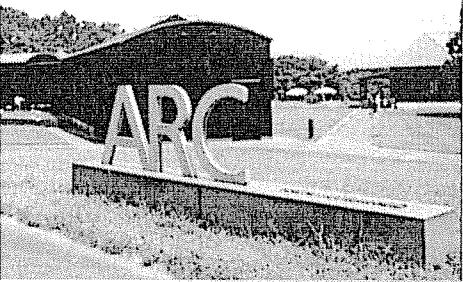
演奏: 永山 友美子

開演: 夕方6時ごろから

永山さんのプロフィール: 武藏野音楽大学声楽科卒業/79年ウィーン国立アカデミー夏期ゼミナール参加/アイリッシュハープを梅津三知代、グランドハープを本田富美江に師事。井上久美子門下生コンサートに出演。/著書

『永山友美子オペレッタシリーズ1~7(音楽之友社)など、

ハラ ミュージアム アーク

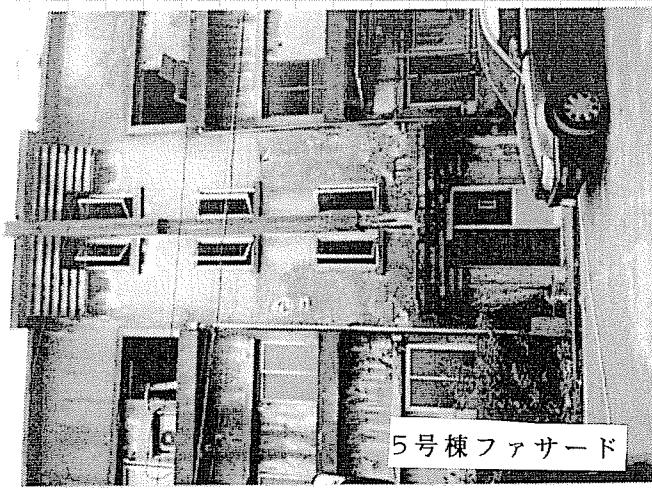


1999.9.10

旧東京市営古石場住宅



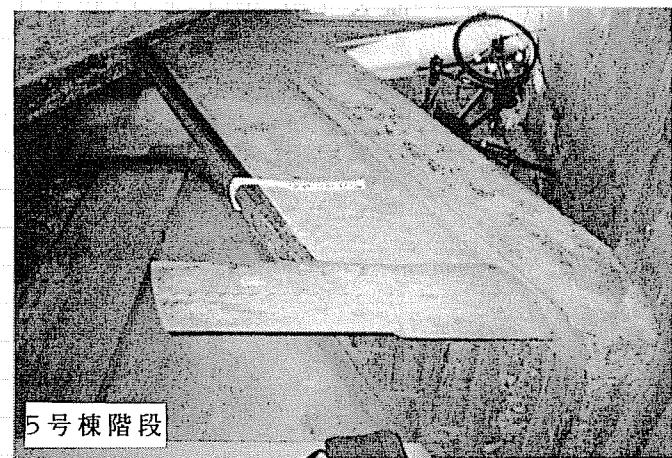
5号棟外観



5号棟ファサード



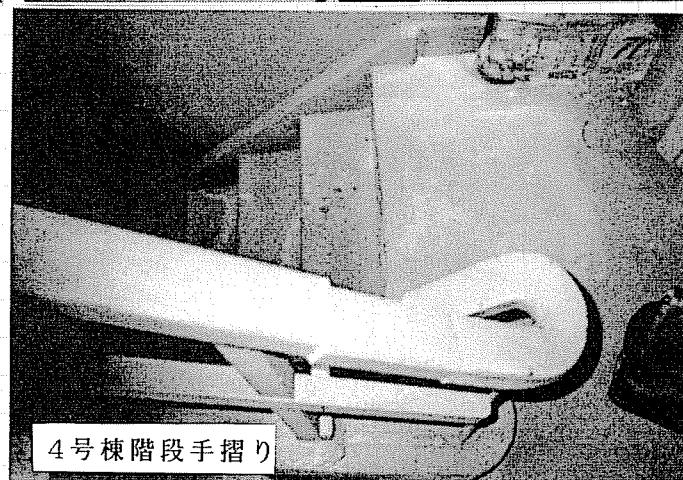
4号棟室内



5号棟階段



4号棟階段室踊り場ダストシート



4号棟階段手摺り



2号棟屋上洗濯場



2号棟屋上洗濯場

奥武蔵高原に紅葉したミズナラの自然林（コナラではない）を見に行こう！！ 主催 アルテクルブ

— 秋の武川岳トレッキング —

(標高 1,051.7m、名郷より高低差約 730m、山中より約 500m)

期日 : '99.11.6 (土) 雨天決行 当日の連絡は 090-3699-0936 (草野)

集合 : 名郷バス停 10:00 車が2台以上調達できるので林道の終点まで車で行きます。

出発 : 西武池袋 7:34発・快速急行 ~ 飯能 8:30着 (連絡頂ければ飯能の駅で拾います)

飯能 8:55発 (国際興業バス) ~ 名郷 9:55着 · 名郷出発 10:00

・車で来られる方は大鳩園キャンプ場に1日 1000円で置けますので草野まで連絡をお願いします。台数を確認します

ハイキングルート : 山中 ~ 45分 ~ 妻坂峠 ~ 45分 ~ 武川岳 ~ 1時間30分 ~ 名郷

名郷でバスを降り、湯ノ沢橋を渡ると売店があるので、ここで水を補給し、道路を白岩、鳥首峠方面への分岐のある大場戸まで行き、ここから右へ広い林道を進む。山中集落を通り過ぎると、まもなく林道は行き止まりになる。ここからいよいよ山道となる。沢を左に渡り、小さな沢に沿って山道を登って行く。峠に近づくにしたがって急なジグザグ道になり、登りきると石仏がひっそり立っている妻坂峠に出る。この峠からの武甲山の展望はすごいという。急で直線的な赤土の尾根を登ると、武甲山、伊豆ヶ岳などの見える武川岳山頂に着く。360度を眺めながらお昼をして、午後は尾根筋を名郷までゆっくり下る。河又まで下り、名栗村営の温泉「さわらびの湯」で汗を流し、隣の手打ちそば、うどんの「ゆきやなぎ」か、飯能まで下り、岩根橋の近くのおそばや「…」で体をねぎらい、これからまちづくり、かわづくり、やまづくりについて語りあいたい。

装備 : 昼食、水 (1リットルぐらい)、携帯食、軍手、雨具、防寒着、救急薬品、健康保険証、地図、磁石、ゴミ用袋、服装は応用の効く重ね着 (半袖Tシャツ、ウールのシャツなど)、靴はなるべくハイキングブーツを着用、足の強い人はスニーカーでも大丈夫、バンダナ (包帯がわり、繋げてロープ、うなじを日ざしから守る,) 帽子 (落石から頭部を守る)、鳥を観察したい方は双眼鏡、思い出を残したい方はカメラ、スコップは不可

